チーム

東　中　学　校
女子バレーボール部通信
NO、207号
２月２２日(土)

☆頑張ったからこそ…☆

メダルにはあと一歩届かず、皆さんにメダルを持ち帰る事が出来ないのは残念で仕方がありませんが、オリンピックという最高の舞台の決勝戦で何度も何度も最高の滑りができた事、魔法がかかったみたいだと思っています。そして、本当に清々しい気持ちで一杯です。

コースの中でそれをやったのは自分自身なのですけれど、みんなの想いやこれまでの練習の積み重ねとか、身体の調整や、色んなものが繋がって最後の最後まで自分を支えて力をつないでくれたんだと思っています。

私のオリンピックメダルへの５回の挑戦は、７、６、５、４、４位でした。結局メダルは最後まで取れなかったけれど、５大会連続で後退する事なく進んだこの成績を私は誇らしく感じています。そして、ここまで支えてくれた全ての人達へ感謝の気持ちで一杯です。前を向いて、目標に向かって進める時間を与えてもらえたこの人生に感謝しています。

オリンピックは、苦しい事も悔しい事も悲しい事も悩みを与えられる場所でもあったけれど、壁を乗り越えようと前進する力や、その先にある達成感そして、皆と心が一つに繋がれる奇跡をも与えてくれる場所でした。後輩や皆に、胸を張って言えます。

「オリンピックは、素晴らしい場所だよ！」

そう思える今日を迎えられて幸せです。

（ソチオリンピック　女子モーグル日本代表
上村愛子選手ブログより抜粋）

【何かを感じてほしい！】

左の文章を読み、みんなの心には何が残っているでしょうか。オリンピック選手と一中学生とは違いがあるでしょう。しかし、先生は根本の部分は同じであり、共通する部分もたくさんあると思っています。左の上村選手の言葉も含め、みんなには今回のオリンピックを通して聞こえてきた様々な言葉・表情などから、“何か”を感じてほしいと思います。そして、感じたことを自分自身の取り組み・心のもちように移していけると素晴らしいですね。

【“真似ること”も大切！】

今日・来週の土日と、たくさんのチームと試合をすることになります。何度も言っていますが、**『練習試合は試合をするだけが目的ではなく、たくさんのチーム・たくさんの選手を見ること』**も目的です。**“学ぶことは真似ることから”**という言葉もあるように、自分で見て、試行錯誤しながら取り組んでいくことも大切です。空いた時間を有効に使って、有意義な３日間にしましょう。